

表-1 パーミアコン舗装の標準断面(歩行者系道路)

種別	交通条件例	用途例	標準断面構造
歩道タイプ(I)	歩行者、自転車のみ (注1) (区分I相当)	(注2) ・歩道 ・自転車道 ・園路 ・広場	 パーミアコン 8cm 路盤 10cm (注3) (PM-N8-10)
歩道タイプ(II)	歩行者、自転車と、最大積載量4t以下の管理車両や限定された一般車両 (注1) (区分II相当)	(注2) ・歩道 ・自転車道 ・園路 ・広場	 パーミアコン 8cm 路盤 15cm (PM-N8-15)

注)パーミアコンに鉄筋、溶接金網は使用しません。

表-2 パーミアコン舗装の標準断面(駐車場、車道)

種別	交通条件例	用途例	標準断面構造
駐車場タイプ(I) (乗用車用)	(注4) 乗用車と、 (注5) 4t車以下(10台/日)と、 (注6) 緊急車両(2台/年)	・駐車場 ・歩道の車両乗入れ部 ・広場	 パーミアコン 10cm 路盤 15cm (PM-N10-15)
建築外構タイプ	(注4) 乗用車と、 6t車以下(10台/日)と、 (注7) 緊急車両(1台/日):梯子車	・建築外構道路 ・駐車場 ・イベント広場	 パーミアコン 13cm 路盤 15cm (PM-N13-15)
駐車場タイプ(II) (大型車用)	(注4) 乗用車と、 6t車以下(30台/日) (注4) 乗用車と、 (注8) 大型バス(10台/日)	・駐車場 ・建築外構道路 ・軽交通路	 パーミアコン 15cm 路盤 15cm (PM-N15-15)
車道タイプ	(注9) 大型車(交通量任意設定)	・車道	(注9)  パーミアコン 16cm~ 路盤 15cm~ (PM-N(16~)-(15~))

注)パーミアコンに鉄筋、溶接金網は使用しません。

(注1)歩行者系道路舗装設計区分

(注2)車両乗入れ部は「駐車場タイプ(I)」以上の舗装構造となります。

(注3)製品番号。

(注4)路床土の性質が「普通(CBR3程度)」の場合の通行可能交通量(例)。より良好な路床(CBR 4以上)の場合は通行可能交通量等が多少向上しますが、舗装構造は変わりません。なお、路床の設計CBRが3未満の場合や寒冷地で凍結融解対策が必要な場合は路床の構築をアスファルト舗装要綱により行います。

(注5)4t車、6t車とは最大積載量4t、6tの普通貨物自動車(単軸車両)を指します。

(注6)6t車級以下の自動車(単軸車両)を指します。

(注7)法定最大輪荷重5t以下の自動車(単軸車両)を指します。

(注8)定員60人程度の乗合自動車(単軸車両)を指します。通行可能な交通量は定員や車種により変わります。

(注9)交通条件等にあわせて別途検討いたします。

(注10)定員11人以上30人未満の乗合自動車(単軸車両)を指します。

(注)アウトリガを使用する場合等パーミアコン舗装面に集中荷重を載荷する場合は、限定された敷板等であらかじめ舗装を保護する必要があります。また舗装を破壊する恐れのある場合は別途検討が必要です。

パーミアコンの路盤材はクラッシャーラン又は再生クラッシャーランを標準とします。

車種例	車両総重量
大型バス はしご付消防ポンプ自動車 消防ポンプ自動車	25トン以下
6t車以下 大型バス(定員40人以下) 消防ポンプ自動車	10トン以下
4t車以下 集塵車 マイクロバス(注10)	8トン以下